
米国経済展望

2018年3月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/usa/>

目次

◆概況	p. 1 ~ 2
◆トピックス①：歳出上限の引き上げで景気が上振れ.....	p. 3
◆トピックス②：保護主義の強まりは世界経済の下振れリスクに.....	p. 4
◆米国景気・金利見通し.....	p. 5
◆Fed Watch：今後の利上げペースが注目点.....	p. 6

調査部 マクロ経済研究センター（欧米経済グループ）

研究員 長野 弘和 （Tel：03-6833-8744 Mail：nagano.hirokazu@jri.co.jp）

◆本資料は2018年3月12日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

米国景気：家計部門では順調な拡大が持続

◆雇用・所得環境は良好

2月の非農業部門雇用者数は前月差+31.3万人と大幅に増加。一方、時間当たり賃金は前年比+2.6%と前月から伸びが鈍化。1月の大幅な上振れは寒波による労働時間の減少の影響が大きく、賃金の伸びは均してみて緩やかな上昇基調にあると判断。

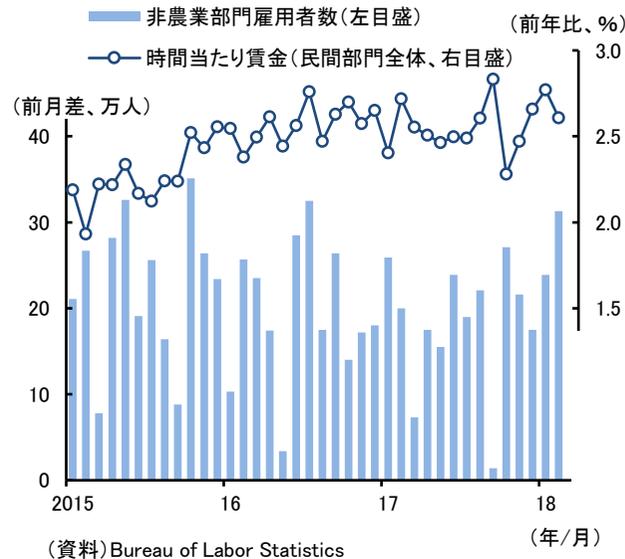
◆小売売上高は5ヵ月振りに減少

1月の小売売上高は前月比▲0.3%と5ヵ月振りに減少。ハリケーン後の買い替え需要の反動で自動車の減少が続いたほか、寒波の影響などから建材が弱含み。もっとも、消費者マインドは金融市場が不安定化するなかでも、減税による所得増への期待などから高水準を維持。先行き、良好な雇用・所得環境を背景に個人消費は回復が続く見込み。ただし、トランプ政権が保護主義色を強めるなか、金融市場が再び混乱すれば、消費者マインドの悪化を通じて、個人消費が下振れるリスクには注意が必要。

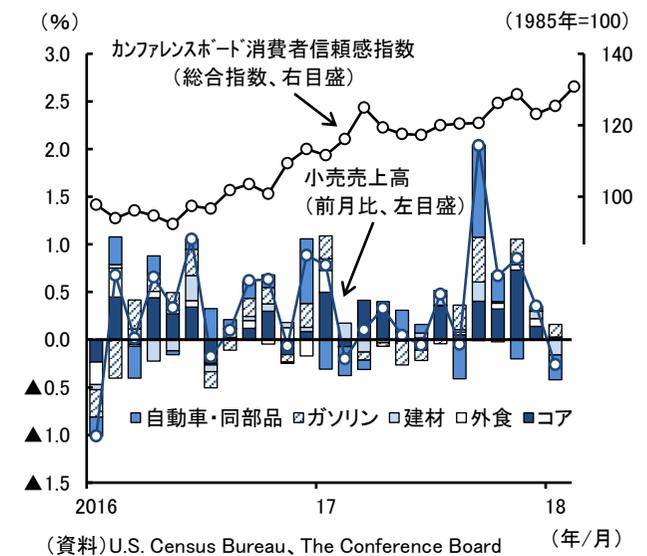
◆資金制約が住宅市場の逆風

1月の住宅販売件数は、新築・中古ともに2ヵ月連続で減少。寒波の影響に加え、長期金利の上昇や、在庫不足などを背景とした住宅価格の上昇などが下押しに作用。今後も住宅価格・長期金利の上昇が続くとみられ、所得水準や住宅価格、住宅ローン金利などを基に算出される住宅取得能力指数は、低下傾向が強まる見込み。2000年代後半の住宅バブル崩壊後、金融機関の融資姿勢は慎重化しており、信用リスクが相対的に高い消費者の住宅ローンによる資金調達が困難となれば、住宅市場回復の足かせとなる可能性。

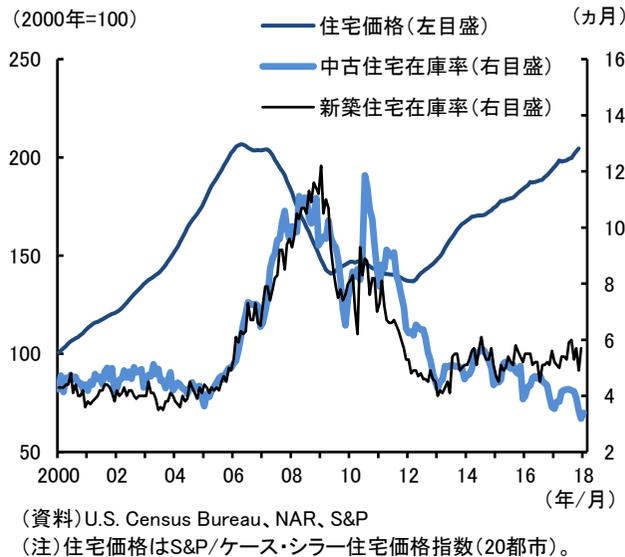
雇用者数と時間当たり賃金



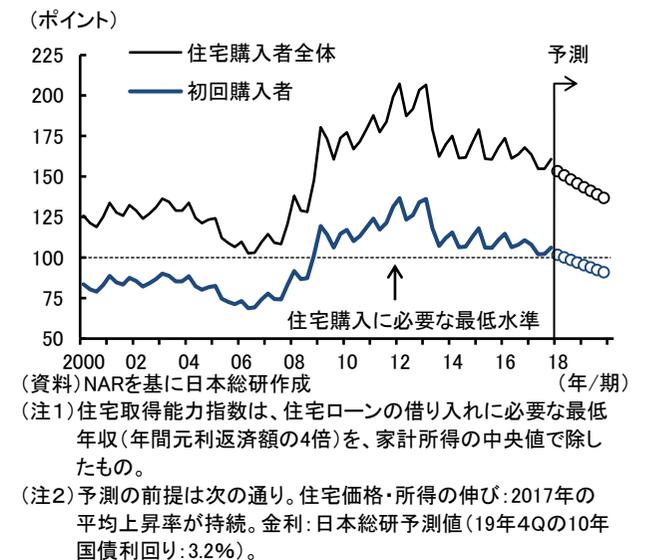
小売売上高と消費者マインド



住宅在庫率と住宅価格



住宅取得能力指数



企業部門では生産や輸出の回復が持続

◆生産や輸出の回復が続く見込み

企業部門では、海外景気の持ち直しやドル安等を背景に、輸出の回復傾向が持続。2月の製造業の輸出受注は2011年4月以来の高水準となるなど、先行きも輸出の増勢が続く見込み。

一方、1月の鉱工業生産は前月比

▲0.1%と5ヵ月振りに減少。製造業が小幅増加に転じたものの、鉱業が前月比

▲1.0%と2ヵ月連続で減少。もともと、鉱業の減少は昨年末にかけて資源価格の上昇などを背景に高い伸びが続いた反動の影響が大。製造業の新規受注は引き続き高水準で推移しており、先行き、輸出の増加も追い風に、生産の回復が持続する見込み。

◆「雇用の質」が重要な経営課題に

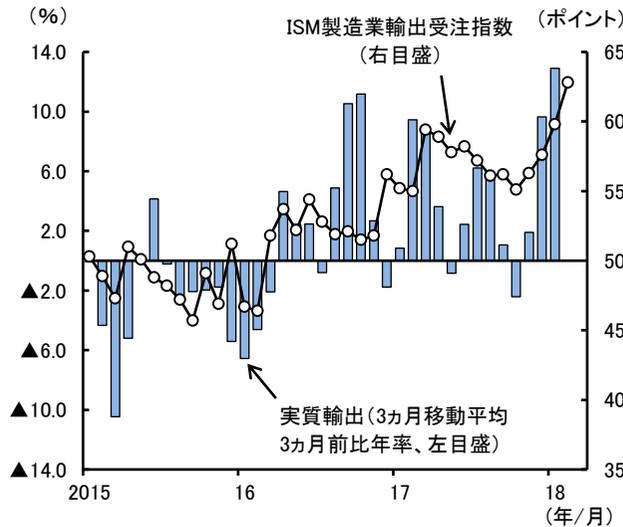
NFIB（全米自営業者連盟）のアンケートによると、内外景気の回復が続くなか、「売上不振」を最も重要な経営課題とする中小企業の割合は大きく低下。また、規制緩和に積極的なトランプ政権の発足により、2017年入り後、「規制」を重要課題とする企業の割合も低下。一方、「雇用の質」を課題とする企業の割合は上昇傾向。労働需給のひっ迫が続くなか、質の高い労働者の確保が問題に。

◆コア物価は徐々に伸びが拡大

1月の消費者物価指数は前年比+2.1%と、2ヵ月連続で伸びが鈍化。もともと、エネルギーの上昇幅縮小による影響が大きく、コア物価はサービス・財ともに緩やかな持ち直しが持続。

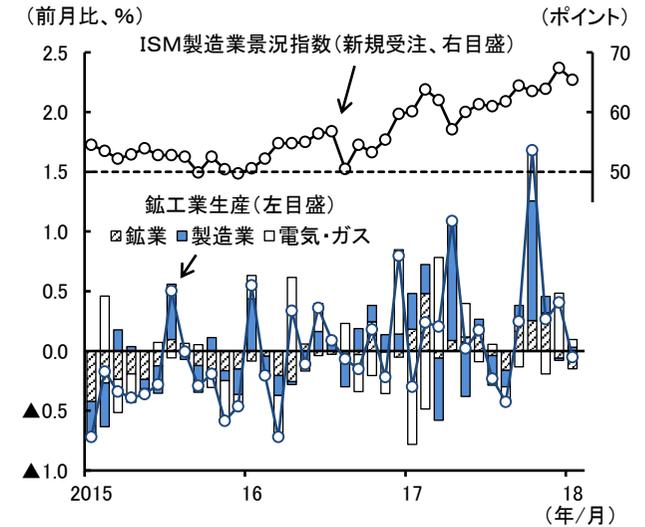
先行きを展望すると、通信料の下落などの一時的な下押し要因の剥落に加え、コア物価の基調を左右する賃金の伸びが徐々に高まるにつれて、物価の伸びも拡大していく見込み。

実質輸出と製造業輸出受注



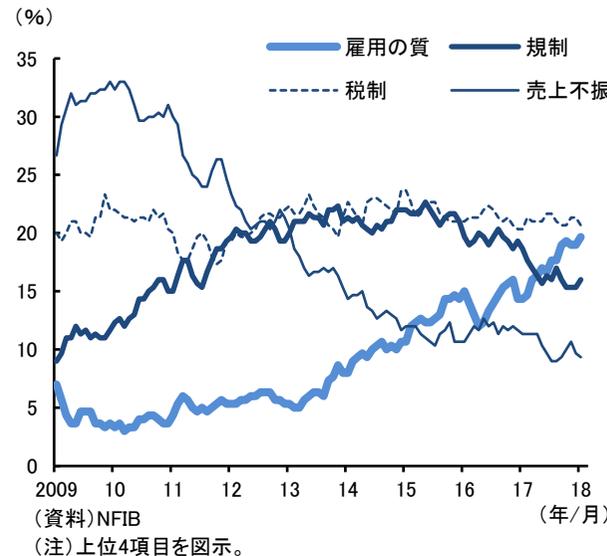
(資料) U.S. Census Bureau, ISM

鉱工業生産と製造業新規受注



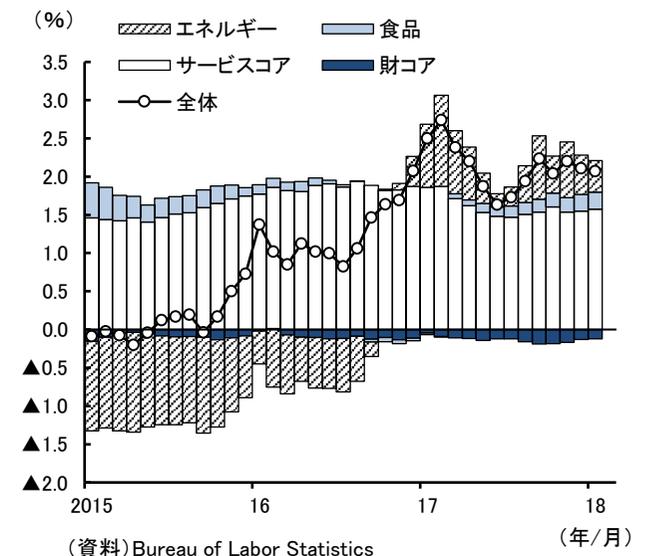
(資料) FRB, ISM

中小企業の最も重要な経営課題(3ヵ月平均)



(資料) NFIB
(注) 上位4項目を图示。

消費者物価指数(前年比)



(資料) Bureau of Labor Statistics

トピックス①：歳出上限の引き上げで景気が上振れ

◆歳出上限の引き上げが景気を刺激

米議会は、2月9日、2018年超党派予算法を可決。暫定予算の3月23日までの延長や、債務上限の2019年3月までの適用停止が盛り込まれたほか、18～19年度の裁量的経費の歳出上限を、2年間で3,000億ドル引き上げること決定。今回の歳出上限の引き上げは、過去の引き上げと比較しても大規模なものとなり、昨年12月に成立した税制改革法に続き、拡張的な財政運営を象徴する内容に。

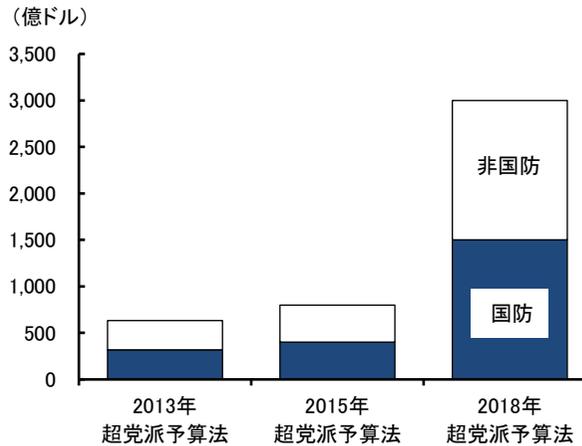
今回の歳出上限の引き上げによる実際の支出増加額や支出時期が確定するには、議会で調整が続く歳出法案の成立を待つ必要があるものの、議会予算局（CBO）による見通しに基づき試算を行うと、18～19年の成長率を0.3～0.4%ポイント押し上げる見込み。

◆大規模な景気刺激策にはリスクも

もっとも、足許の米国経済では、需給ギャップが解消しているとみられるなかで、こうした大規模な景気刺激策を行うことにはリスクも。まず、景気の過熱感が強まった場合、インフレ懸念の高まりなどから、FRBが利上げペースの加速を余儀なくされる可能性。この結果、長期金利の大幅な上昇が国内需要を圧迫し、景気が腰折れする恐れが増大。

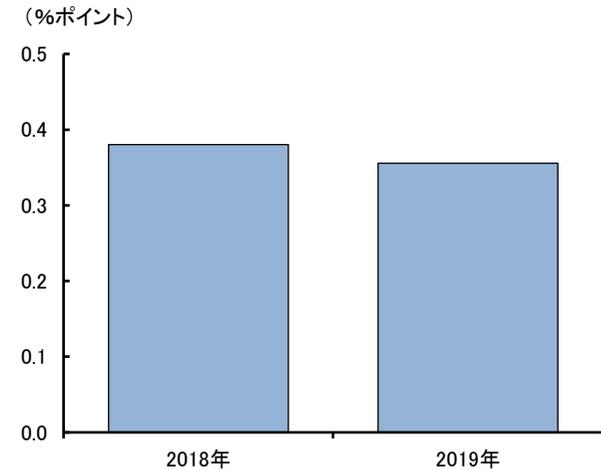
さらに、中長期的な観点からは、拡張的な財政運営により、財政が悪化することで、次回の景気後退時に財政出動による十分な景気刺激が困難となるリスクも。

裁量的経費の歳出上限の引き上げ額



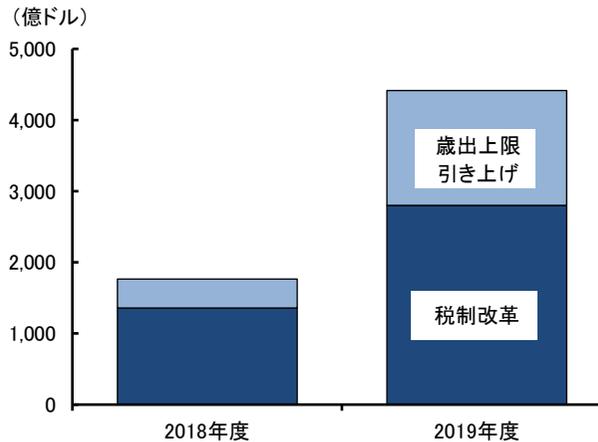
(資料)CBO
(注)2013年超党派予算法の引き上げ額は2014～15年度の合計、15年超党派予算法の引き上げ額は16～17年度の合計、18年超党派予算法の引き上げ額は18～19年度の合計。

歳出拡大による実質GDP成長率の押し上げ幅



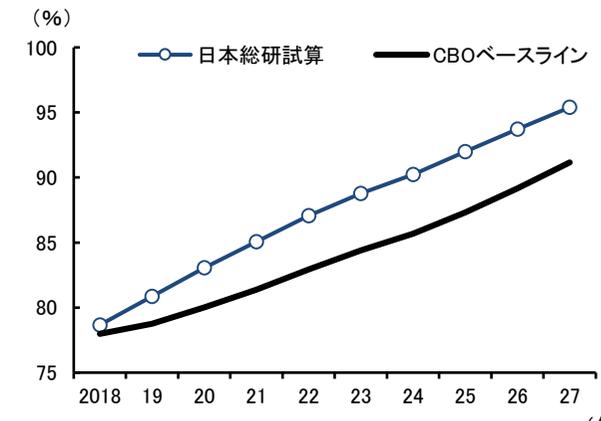
(資料)CBO、JCTを基に日本総研作成
(注1)政府支出の増加はCBOによる試算。
(注2)暦年ベース。乗数効果を0.8と仮定し、日本総研作成。

財政赤字の増加幅



(資料)CBO、JCTを基に日本総研作成
(注)年度ベース。税制改革についてはJCTの試算、歳出上限引き上げについては、CBOによる政府支出の増加額の試算を基に算出。

連邦政府債務残高対名目GDP比の見通し



(資料)CBO、JCTを基に日本総研作成
(注1)CBOベースラインは2017年7月時点のもの。
(注2)日本総研試算は、ベースラインケースに税制改革および歳出上限の引き上げによるGDPの上振れ、および財政赤字の拡大を加味して試算。

トピックス②：保護主義の強まりは世界経済の下振れリスクに

◆2018年入り後、保護主義に傾倒

トランプ大統領は3月8日に、23日から鉄鋼に25%、アルミニウムに10%の輸入関税を課すことを決定。カナダ・メキシコがNAFTAの再交渉を理由に適用が猶予されたほか、日本を含めた他の同盟国も交渉次第で適用免除の可能性が示されたものの、交渉の行方には依然注意が必要。

こうした保護主義的な動きの背景には、11月の中間選挙を見据え、トランプ政権の中心的な支持層である白人中間層をつなぎとめるため、大統領権限で実現可能な通商政策を重視していることが指摘可能。

◆中国への牽制の意味合いも

今回の関税賦課の決定は、米国内の鉄鋼・アルミニウム業界を保護する目的に加え、米国の貿易赤字の約4割を占める中国に対する牽制の意味合いも大。

ちなみに、米通商代表部は、中国の知的財産権の侵害や技術移転の強要に関する調査結果を今後数週間以内に前倒しで報告するとみられ、内容次第では、中国の対米投資の制限や、中国からの輸入品に対する広範な関税賦課が検討される可能性。

◆報復関税の応酬に注意が必要

今回の鉄鋼・アルミニウムに対する関税賦課は、的を絞った適用となる公算が大きく、景気への影響は限定的となる見込み。

もっとも、同盟国との交渉が不調に終わり対象国が広範に及べば、鉄鋼・アルミニウムの輸入価格が大きく上昇し、自動車業界などの川下企業ではコスト増に。さらに、コスト増が最終製品価格に転嫁されれば、個人消費にマイナスに作用。加えて、中国やEUなどとの間で報復措置の応酬となり、輸出が大きく減少する恐れ。

トランプ政権の通商政策を巡る主な動き

年	月	内容
2017	1月	TPP離脱表明
	4月	通商拡大法232条に基づき鉄鋼・アルミニウムの調査を指示
	5月	NAFTA再交渉を議会に通知
	8月	通商法301条に基づき中国の知的財産権侵害や技術移転の強要の調査を指示
2018	1月	通商法201条に基づき、太陽光パネル・家庭用洗濯機にセーフガードを発動
	3月	トランプ大統領が、鉄鋼の輸入に25%、アルミニウムの輸入に10%の関税を課すと表明(1日) コーン国家経済会議(NEC)委員長が鉄鋼・アルミニウムへの関税賦課に反対し、辞意を表明(6日) 関税賦課を正式決定(8日、カナダ・メキシコを除く)
	8月	通商法301条に基づく中国の知的財産権侵害や技術移転の強要の調査報告期限
	11月	米中間選挙

(資料)各種資料を基に日本総研作成

鉄鋼・アルミニウムの主要輸入相手国

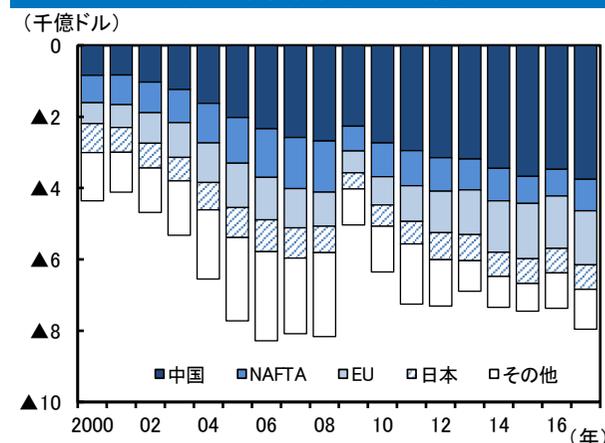
(単位:金額は億ドル、シェアは%)

順位	鉄鋼			アルミニウム		
	国	金額	シェア	国	金額	シェア
1	カナダ	51.2	17.6	カナダ	68.6	40.8
2	韓国	27.9	9.6	中国	17.6	10.5
3	メキシコ	25.0	8.6	ロシア	15.7	9.3
4	ブラジル	24.4	8.4	UAE	13.4	8.0
5	ドイツ	18.3	6.3	バーレーン	5.9	3.5
6	日本	16.6	5.7	アルゼンチン	5.5	3.3
7	ロシア	14.3	4.9	インド	3.8	2.3
8	台湾	12.6	4.3	南アフリカ	3.8	2.2
9	トルコ	11.8	4.1	カタール	3.1	1.8
10	中国	9.8	3.4	ドイツ	2.6	1.5
11	インド	7.3	2.5	フランス	2.3	1.3
12	イタリヤ	7.3	2.5	メキシコ	2.1	1.2
13	ベトナム	5.2	1.8	インドネシア	2.0	1.2
14	オランダ	5.1	1.8	ベネズエラ	1.8	1.1
15	スウェーデン	4.9	1.7	オーストリア	1.5	0.9
	その他	49.6	17.0	その他	18.6	11.1
	合計	291.4	100.0	合計	168.2	100.0
	(青字合計)	76.2	26.2	(青字合計)	70.7	42.0
	(赤字合計)	50.1	17.2	(赤字合計)	21.4	12.7

(資料)U.S. Census Bureau, U.S. Department of Commerce, Tax Foundationを基に日本総研作成

(注)2017年実績。青字はNAFTA加盟国。赤字は中国および中国の鉄鋼輸出相手国の上位10カ国に含まれる国および中国のアルミニウムの輸出相手国の上位5カ国に含まれる国。

米国の貿易赤字額の推移



(資料)U.S. Census Bureau を基に日本総研作成

輸入制限に関する主な反応、発言

【米国内】
トランプ大統領(3月2日)
「貿易戦争はそれほど悪くない」
ライアン米下院議長(3月5日)
「鉄鋼・アルミニウムの過剰生産能力という問題を指摘するトランプ大統領は正しいが、中国のような乱用国を標的とするのが適切なアプローチである」
ムニューシン財務長官(3月6日)
「(NAFTAの)再交渉が成功すればカナダやメキシコに関税は適用されない」
【中国】
李克強首相(3月5日)
「保護貿易主義に反対し、自らの合法的な権益を断固として守る」
【NAFTA】
トルドー・カナダ首相(3月5日)
「(米輸入制限は)絶対に受け入れられない」
グアハルド・メキシコ経済相(3月6日)
「(報復関税の)対象品目のリストアップの作業に入った」
【EU】
ユンケル欧州委員会委員長(3月2日)
「EUは、ハーレー・ダビッドソン、バーボン、リーバイスのジーンズを含む米製品に輸入関税を課す準備をしている」

(資料)各種資料を基に日本総研作成

米国景気・金利見通し：2%台後半の堅調な回復ペースが持続

◆2%台後半の成長が持続

米国経済は、民間部門主導の自律的な動きに加え、税制改革や歳出上限の引き上げによる政府支出の増加が景気の押し上げに作用し、2%台後半の高めの成長が持続する見通し。企業部門では、内外需要の回復による企業収益の改善や税負担の軽減などから、設備投資が底堅く推移。家計部門においても、良好な雇用・所得環境を背景に、個人消費は回復傾向が続く見込み。

もつとも、政権が保護主義・排外主義を強める場合、家計・企業マインドの弱含みや企業収益の悪化をもたらし、景気は下振れる展開に。

◆金利は緩やかに上昇

FRBは、3月のFOMCで、追加利上げを実施へ。その後の追加利上げについては、物価の上昇は緩やかにとどまるとみられるものの、減税や歳出拡大を追い風に、米国経済は高めの成長が続く見込みであることから、労働市場の過熱によるインフレ加速リスクにも配慮し、2018年の利上げ回数は、年4回になると予想。

長期金利は、トランプ政権の政策運営に対する不透明感や不安定な株価動向などから、一時的に下振れる局面はあるものの、米景気が堅調に推移するなか、FRBの利上げが進むにつれて、緩やかに上昇していく見通し。

米国経済・物価見通し

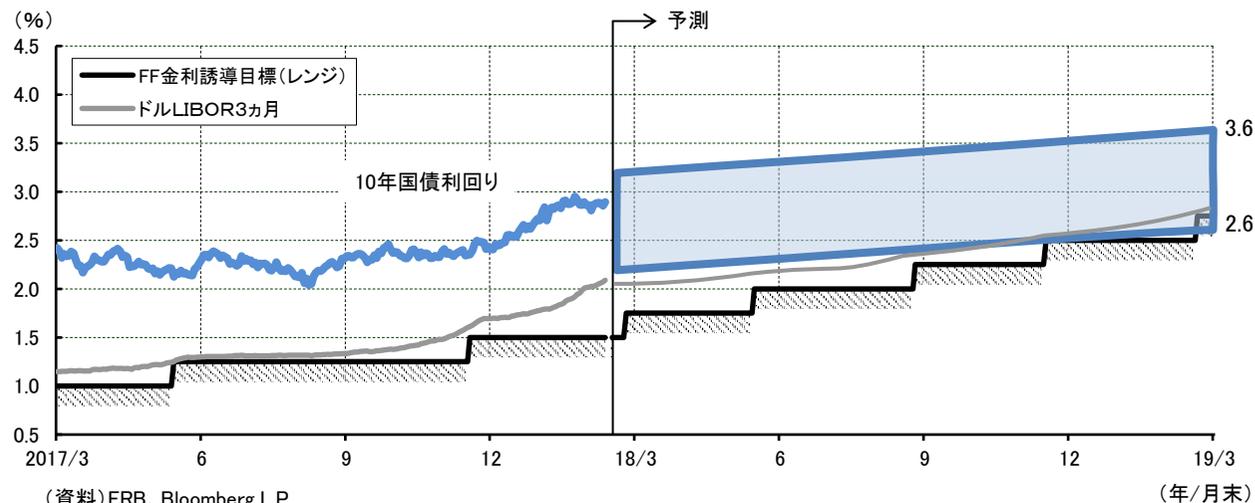
(四半期は季調済前期比年率、%、%ポイント)

	2017年			2018年			2019年	2017年	2018年	2019年
	4~6 (実績)	7~9	10~12	1~3 (予測)	4~6	7~9	10~12			
実質GDP	3.1	3.2	2.5	2.7	2.7	2.8	2.8	2.3	2.8	2.5
個人消費	3.3	2.2	3.8	2.5	2.2	2.2	2.2	2.7	2.6	2.2
住宅投資	▲ 7.3	▲ 4.7	13.0	4.2	3.9	3.8	3.6	1.8	3.7	3.6
設備投資	6.7	4.7	6.6	4.5	4.3	4.0	3.8	4.7	4.9	3.7
在庫投資(寄与度)	0.1	0.8	▲ 0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.0	0.0
政府支出	▲ 0.2	0.7	2.9	2.5	4.1	4.8	5.2	0.1	2.9	3.5
純輸出(寄与度)	0.2	0.4	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.3
輸出	3.5	2.1	7.1	3.2	3.6	3.6	3.6	3.4	4.0	3.6
輸入	1.5	▲ 0.7	14.0	4.0	4.4	4.3	4.4	3.9	5.2	4.3
実質最終需要	3.1	2.5	3.1	2.6	2.7	2.8	2.8	2.4	2.8	2.5
消費者物価	1.9	2.0	2.1	2.1	2.4	2.4	2.2	2.1	2.3	2.3
除く食料・エネルギー	1.8	1.7	1.8	1.8	2.0	2.1	2.2	1.8	2.0	2.2

(資料)Bureau of Economic Analysis、Bureau of Labor Statisticsを基に日本総研作成

(注)在庫投資、純輸出の年間値は前年比寄与度、四半期値は前期比年率寄与度。消費者物価は前年(同期)比。

米国金利見通し



Fed Watch : 今後の利上げペースが注目点に

◆議会証言では強気の景気見通しを表明

2月入り後、①賃金指標の上振れをきっかけとしたインフレ懸念、②それを受けたFRBの利上げペース加速に対する警戒感、③歳出上限の引き上げを受けた財政赤字の拡大懸念、などから、長期金利が大幅に上昇。

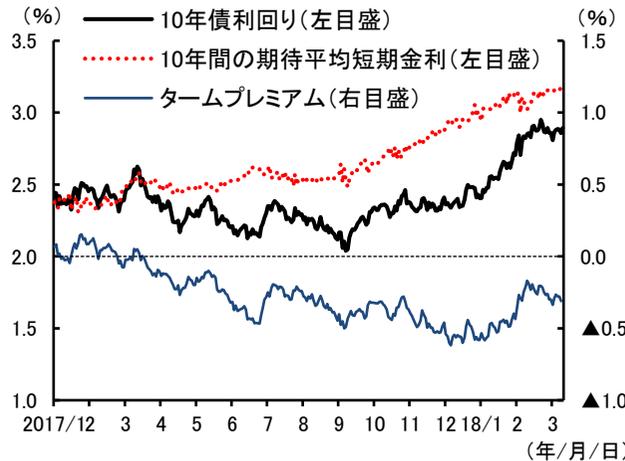
こうしたなか、2月27日、3月1日に行われたパウエルFRB議長による就任後初の議会証言では、現状の経済情勢について、景気過熱や賃金の急加速の兆候は見られないと指摘。一方、先行きの景気拡大や物価の上昇については、自信を深めていることを示唆。また、議会証言に先立ち議会に提出されたFRBの金融政策報告書においても、先行きの景気・物価判断は総じて強気な内容。これらを踏まえると、FRBは3月のFOMCで追加利上げを実施することが確定的。

◆今後の利上げペースが注目点に

市場参加者は3月のFOMCでの追加利上げを織り込み済みであるほか、18年の追加利上げについても、FRBが想定する年3回を織り込みつつある状況。

3月のFOMCでは、FOMC参加者の景気・物価に対する判断や政策金利の見通しが示されることから、税制改革や議会の歳出上限の引き上げなどを受けて、参加者の見解に変化が見られるかが焦点に。FOMC参加者が想定する18年の利上げペースが3回から4回に増えれば、市場が過剰に反応する恐れもあることから、パウエルFRB議長の市場との対話が重要に。

長期金利とタームプレミアムの推移



(資料) Bloomberg L.P.、ニューヨーク連銀
(注1) 10年債利回り = 10年間の期待平均短期金利 + タームプレミアム

(注2) 財政悪化懸念は主にタームプレミアムの押し上げに作用。

金融政策報告書(2/23)の主なトピックの概要

【労働市場】

- ・正確な計測は困難であるが、**労働市場は完全雇用に近い、もしくはそれを上回っている**とみられ、失業率は自然失業率を幾分下回っている。
- ・プライム・エイジ層の男性の労働参加率の低下は、循環的な要因ではなく、構造的な要因であると思われる
- ・**近年の生産性の伸び悩みが賃金の伸びを抑制している**

【先進国の低インフレの要因】

- ・**先進国の低インフレの主要な要因は、金融危機後の景気低迷の長期化と、2014年半ばから16年初めにかけての原油価格やその他の資源価格の下落であるように思われる**
- ・自然失業率が想定よりも低いことが一因の可能性もある
- ・IT化による企業の価格競争力の低下や、新興国へのアウトソーシングによる賃金下落、人口動態の変化などが下押しに作用しているという明確な証拠はない
- ・需要のひっ迫により、**想定以上に賃金や物価の上昇ペースが加速するリスクには注意が必要**である

(資料) FRB、各種報道等をもとに日本総研作成

パウエルFRB議長の議会証言要旨

【証言原稿】

- ・**更なる漸進的な利上げが景気過熱の回避とインフレ目標の達成に向けて最適である**
- ・昨年の一時的な要因によるインフレ率の低下は繰り返さないと予想しており、**インフレ率は今年上昇する**
- ・金融環境は引き続き緩慢的である
- 【下院金融サービス委員会(2/27)での主な発言】
- ・**「経済に対する私の個人的な見通しは、12月以降に強まった」**
- ・**「個人的な見解では、インフレ率が目標に向けて上昇しつつあるとの予想への確信を強めるデータが出ている」**
- 【上院銀行委員会(3/1)での主な発言】
- ・**「賃金の伸びの加速を示す明確な証拠はまだ見られない」**
- ・**「景気が過熱している兆候は現時点では見られない」**
- ・**「財政政策が今年インフレ上昇圧力となる可能性が高い」**
- ・「後手に回り急速な利上げを余儀なくされることで景気後退を招くことは望んでいない」

(資料) FRB、各種報道等をもとに日本総研作成

市場が織り込む各年末時点の累積利上げ回数



(資料) Bloomberg L.P.
(注) 2017年12月の利上げは、今次局面5回目。

内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担0/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	F F 0/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユー・ ストック50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
14/6	102.06	138.81	1.3601	0.0670	0.21	0.59	15131.80	0.10	0.23	2.59	16843.75	1947.09	0.08	0.24	1.35	2.70	3271.69	105.15	1282.57
14/7	101.75	137.74	1.3537	0.0658	0.21	0.54	15379.29	0.09	0.23	2.53	16988.26	1973.10	0.04	0.21	1.20	2.63	3192.31	102.39	1311.82
14/8	102.98	137.10	1.3314	0.0686	0.21	0.51	15358.70	0.09	0.23	2.41	16775.15	1961.53	0.02	0.19	1.02	2.44	3089.05	96.08	1295.73
14/9	107.39	138.46	1.2895	0.0664	0.21	0.54	15948.47	0.09	0.23	2.52	17098.13	1993.23	0.01	0.10	1.00	2.49	3233.38	93.03	1237.99
14/10	108.02	136.99	1.2682	0.0590	0.20	0.49	15394.11	0.09	0.23	2.29	16701.87	1937.27	0.00	0.08	0.88	2.23	3029.58	84.34	1223.11
14/11	116.40	145.21	1.2475	0.0649	0.18	0.47	17179.03	0.09	0.23	2.32	17648.98	2044.57	▲ 0.01	0.08	0.79	2.13	3126.15	75.81	1177.00
14/12	119.44	146.99	1.2307	0.0678	0.18	0.38	17541.69	0.12	0.24	2.20	17754.24	2054.27	▲ 0.03	0.08	0.64	1.87	3159.77	59.29	1198.71
15/1	118.33	137.63	1.1630	0.0739	0.18	0.26	17274.40	0.11	0.25	1.88	17542.25	2028.18	▲ 0.05	0.06	0.45	1.55	3207.26	47.33	1251.49
15/2	118.78	134.86	1.1354	0.0762	0.17	0.37	18053.20	0.11	0.26	1.98	17945.41	2082.20	▲ 0.04	0.05	0.35	1.68	3453.79	50.72	1226.92
15/3	120.37	130.33	1.0828	0.0697	0.17	0.38	19197.57	0.11	0.27	2.04	17931.75	2079.99	▲ 0.05	0.03	0.26	1.69	3655.31	47.85	1179.56
15/4	119.52	129.29	1.0818	0.0609	0.17	0.33	19767.92	0.12	0.28	1.92	17970.51	2094.86	▲ 0.08	0.01	0.16	1.62	3733.80	54.63	1199.88
15/5	120.84	134.80	1.1157	0.0693	0.17	0.41	19974.19	0.12	0.28	2.20	18124.71	2111.94	▲ 0.11	▲ 0.01	0.58	1.93	3617.87	59.37	1198.89
15/6	123.68	138.96	1.1235	0.0717	0.17	0.47	20403.84	0.13	0.28	2.36	17927.22	2099.28	▲ 0.12	▲ 0.01	0.83	2.06	3521.77	59.83	1182.45
15/7	123.33	135.63	1.0999	0.0740	0.17	0.44	20372.58	0.13	0.29	2.32	17795.02	2094.14	▲ 0.12	▲ 0.02	0.76	2.01	3545.10	50.93	1130.72
15/8	123.06	137.11	1.1145	0.0764	0.17	0.38	19919.09	0.14	0.32	2.16	17061.59	2039.87	▲ 0.12	▲ 0.03	0.67	1.87	3444.41	42.89	1119.42
15/9	120.09	134.95	1.1237	0.0734	0.17	0.36	17944.22	0.14	0.33	2.16	16339.95	1944.40	▲ 0.14	▲ 0.04	0.68	1.85	3165.46	45.47	1125.38
15/10	120.16	134.81	1.1220	0.0761	0.17	0.31	18374.11	0.12	0.32	2.06	17182.28	2024.81	▲ 0.14	▲ 0.05	0.55	1.81	3275.48	46.29	1157.86
15/11	122.63	131.56	1.0729	0.0781	0.17	0.31	19581.77	0.12	0.37	2.26	17723.77	2080.62	▲ 0.14	▲ 0.09	0.55	1.94	3439.57	42.92	1084.99
15/12	121.58	132.51	1.0899	0.0749	0.17	0.30	19202.58	0.24	0.53	2.23	17542.85	2054.08	▲ 0.20	▲ 0.13	0.60	1.88	3288.63	37.33	1068.82
16/1	118.29	128.54	1.0867	0.0745	0.17	0.22	17302.30	0.34	0.62	2.08	16305.25	1918.60	▲ 0.24	▲ 0.15	0.51	1.74	3030.50	31.78	1096.42
16/2	114.67	127.31	1.1104	0.0325	0.11	0.02	16346.96	0.38	0.62	1.77	16299.90	1904.42	▲ 0.24	▲ 0.18	0.23	1.44	2862.59	30.62	1201.08
16/3	112.95	125.83	1.1142	▲ 0.0027	0.10	▲ 0.06	16897.34	0.36	0.63	1.88	17302.14	2021.95	▲ 0.29	▲ 0.23	0.22	1.47	3031.42	37.96	1243.96
16/4	109.58	124.25	1.1339	▲ 0.0366	0.08	▲ 0.09	16543.47	0.37	0.63	1.80	17844.37	2075.54	▲ 0.34	▲ 0.25	0.18	1.48	3031.18	41.12	1242.08
16/5	109.00	123.13	1.1298	▲ 0.0589	0.06	▲ 0.11	16612.67	0.37	0.64	1.80	17692.32	2065.55	▲ 0.34	▲ 0.26	0.16	1.44	2983.70	46.80	1256.37
16/6	105.46	118.55	1.1242	▲ 0.0553	0.06	▲ 0.16	16068.81	0.38	0.65	1.64	17754.87	2083.89	▲ 0.33	▲ 0.27	0.01	1.18	2910.80	48.85	1276.23
16/7	104.09	115.17	1.1064	▲ 0.0431	0.06	▲ 0.26	16168.32	0.39	0.70	1.49	18341.18	2148.90	▲ 0.33	▲ 0.30	▲ 0.09	0.79	2919.08	44.80	1339.84
16/8	101.31	113.51	1.1205	▲ 0.0434	0.06	▲ 0.09	16586.07	0.40	0.81	1.56	18495.19	2177.48	▲ 0.34	▲ 0.30	▲ 0.07	0.61	2992.87	44.80	1338.44
16/9	101.83	114.18	1.1213	▲ 0.0516	0.06	▲ 0.05	16737.04	0.40	0.85	1.62	18267.40	2157.69	▲ 0.34	▲ 0.30	▲ 0.05	0.77	3012.09	45.23	1326.45
16/10	103.85	114.48	1.1024	▲ 0.0368	0.06	▲ 0.06	17044.51	0.40	0.88	1.75	18184.55	2143.02	▲ 0.35	▲ 0.31	0.04	1.04	3042.33	49.94	1265.84
16/11	108.63	117.09	1.0786	▲ 0.0492	0.06	▲ 0.01	17689.54	0.41	0.91	2.15	18697.33	2164.99	▲ 0.35	▲ 0.31	0.24	1.34	3026.40	45.76	1234.22
16/12	116.12	122.35	1.0538	▲ 0.0440	0.06	0.05	19066.03	0.54	0.98	2.49	19712.42	2246.63	▲ 0.35	▲ 0.32	0.29	1.39	3207.27	52.17	1150.49
17/1	114.92	122.17	1.0632	▲ 0.0448	0.06	0.06	19194.06	0.65	1.03	2.43	19908.15	2275.12	▲ 0.35	▲ 0.33	0.35	1.37	3298.77	52.61	1192.47
17/2	112.99	120.23	1.0641	▲ 0.0381	0.06	0.09	19188.73	0.66	1.04	2.42	20424.14	2329.91	▲ 0.35	▲ 0.33	0.32	1.25	3293.10	53.46	1234.97
17/3	112.92	120.67	1.0687	▲ 0.0416	0.06	0.07	19340.18	0.79	1.13	2.48	20823.06	2366.82	▲ 0.35	▲ 0.33	0.39	1.20	3427.10	49.67	1231.31
17/4	110.04	117.93	1.0717	▲ 0.0545	0.06	0.03	18736.39	0.90	1.16	2.29	20684.69	2359.31	▲ 0.36	▲ 0.33	0.25	1.06	3491.83	51.12	1271.21
17/5	112.24	124.09	1.1057	▲ 0.0527	0.06	0.04	19726.76	0.91	1.19	2.30	20936.81	2395.35	▲ 0.36	▲ 0.33	0.38	1.09	3601.87	48.54	1245.50
17/6	110.97	124.70	1.1238	▲ 0.0556	0.06	0.05	20045.63	1.04	1.26	2.18	21317.80	2433.99	▲ 0.36	▲ 0.33	0.29	1.05	3547.85	45.20	1259.99
17/7	112.38	129.59	1.1532	▲ 0.0542	0.06	0.08	20044.86	1.15	1.31	2.31	21581.25	2454.10	▲ 0.36	▲ 0.33	0.54	1.25	3483.89	46.68	1237.66
17/8	109.84	129.81	1.1818	▲ 0.0493	0.06	0.04	19670.17	1.16	1.31	2.20	21914.08	2456.22	▲ 0.36	▲ 0.33	0.42	1.10	3451.34	48.06	1284.21
17/9	110.81	131.93	1.1906	▲ 0.0579	0.06	0.02	19924.40	1.15	1.32	2.20	22173.41	2492.84	▲ 0.36	▲ 0.33	0.41	1.21	3507.10	49.88	1315.37
17/10	112.93	132.75	1.1755	▲ 0.0371	0.06	0.06	21267.49	1.15	1.36	2.36	23036.24	2557.00	▲ 0.36	▲ 0.33	0.43	1.35	3614.75	51.59	1280.89
17/11	112.82	132.48	1.1744	▲ 0.0483	0.06	0.04	22525.15	1.16	1.43	2.35	23557.93	2593.61	▲ 0.35	▲ 0.33	0.36	1.28	3601.43	56.66	1282.11
17/12	112.93	133.68	1.1838	▲ 0.0422	0.06	0.05	22769.89	1.30	1.60	2.41	24545.38	2664.34	▲ 0.34	▲ 0.33	0.35	1.22	3564.66	57.95	1267.01
18/1	110.97	135.28	1.2193	▲ 0.0396	0.07	0.07	23712.21	1.41	1.73	2.57	25804.02	2789.80	▲ 0.36	▲ 0.33	0.55	1.33	3612.16	63.66	1330.67
18/2	107.86	133.14	1.2344	▲ 0.0419	0.07	0.06	21991.68	0.00	1.87	2.86	24981.55	2705.16	▲ 0.37	▲ 0.33	0.72	1.57	3426.71	62.18	1331.70